

改良熱が如何に磅礴して居るかを物語る證左とも見らるゝのである。且夫道路の改良は大量生産の主義によりて、集約的に、一路線毎に、可成短期間に工事を進むるを利益とする、彼の總花主義の斷片的改良は、假し夫が經常歲入の範圍で支辨し得るにせよ、決して道路の利用を有効ならしむる所以でなく、又地方財政の妙用でもない、旁々大量主義には纏まつた起債で繼續事業とする必要がある。處が國の財政都合で飽まで地方財政に干渉する、起債を禁止的に取締る、各種必要なる事業にまで桎梏を加ふる、此等の事實が小にも大にも我邦に於ける道路の改良を遲滞せしむる所以であつて、是では我邦の道路は永久に國民經濟の發達に貢獻することが出来ぬと思ふ。彼の世界に富強を誇りつゝある英米に於てすら、道路の改良は多くは起債に由つて居る、百哩二百哩を一口の工事として、其の爲特に郡町村の組合を作つてまで、大量主義の改良工事を極めて經濟的に進めて居る、成程一時に多額の費用を要するには要するが、之を大體工事の命數期間内に償還する、^②が地方財政を紊亂せざるは素より、金利を支拂つても尙且經濟的にも社會的にも甚で有利であるとのことである。凡そ道路の如き利益を後世に傳ふるものにおいて、負擔の幾分を子孫に遺すに何等の不合理はない筈である、國民に

勤儉貯蓄を奨励する今日でも、國民の貯蓄を地方債の應募に振向けしむるに何等の矛盾も紊亂も生じないと思ふ。六のみならず、地方人各自の餘蓄を以て、各自の生活機關とも云ふべき、道路を改良せしむるは、寧ろ自治の發達及貯蓄の奨励上、一舉兩得の良策ではあるまいが。

名古屋倉庫株式會社 松下奈良三郎

農村救濟策と道路問題

農村に對する道路の良否は貨物一噸に對し小運搬費に於て金壹圓乃至二三圓の影響を來して之れが累積は驚くべき多額の損害を蒙り居るは明瞭の事實なるに平然として顧みるもの少なきは最も意外とする處なり。現に不良道路の運搬を見るに農車を以て産米の五俵又は六俵を積載し都市に搬出するもの少からず、之れを普通荷車を以て搬出し得る量に比すれば其數半數に過ぎず。元來公益的施設に對しては其投資は綜合的明確の數字を見るに拘はらず、之れが効果は地方民又は國民的に歸屬し從て其多大の額なるものも明確なる數字を得ざる爲め私益事業と異なり極めて有益なるものをも看過するの弊あるは甚だ遺憾とする處なり。之れに反し時に地方的

又は政爭的感情に陥り實益の伴はざる濫施を試みたる例も亦 少からず。此際十分の甄別をなし過度の緊縮を試み資源の培養を忘るゝが如き事なきを切望す。

小運送と道路問題

小運搬費の驚くべき多額を要するは一般に認識する處なり。雖も事實は想像以上の多額にして最近東京に於ける調査に依つて

品名	驛名	哩數	一噸當汽車賃	市内配達	同上二噸當賃金	汽車賃に對する 配達賃割合
小麥粉	千葉 兩國間	二十三哩	七十六錢	均	四圓四十錢	五十八割
鮮魚	銚子 兩國間	七十三哩	五圓六十五錢	魚市場迄	八圓八十二錢	十六割
野菜	平塚 汐留間	三十九哩	壹圓二錢	野菜市場迄	六圓六十錢	六十四割
酒	住吉 汐留間	三百五十八哩	八圓三十錢	均	六圓廿錢	八割
木炭	我孫子 隅田川間	十九哩	八十錢	同	三圓七十錢	四十六割

以上の比例は地方に於ては一般の甚しき者あるを免れず、之れが原因は各施設の不完全なる爲め冗費の多大なるに因、と雖も道路不良は其最大因をなすものと認めらる。今名古屋 市に於ける最近一ケ年間の小運搬の實際を考査するに

一 鐵道九驛に發着するもの	二、六六三、八〇二噸	合 計	八、八〇二、七五三噸
二 水路にて發着するもの	三、〇二六、〇二一噸		
三 陸路にて移出入するもの	三、一一二、七五〇噸		
右の貨物は如何なる道路に配達せらるゝかを推算するに(自動車運搬は少量に付)		此一日當	二四、一一二噸

一級(牛馬車) 道路(荷車)	三、八五九噸	二級(牛馬車) 道路(荷車)	七、七一八噸	三級(牛馬車) 道路(荷車)	七、七一八噸
	九六四噸		九二九噸		九二九噸
合計			二四、一一二噸	合計	
			二四、一一二噸	二四、一一二噸	

而して之れに對する小運送賃金を調査するに

(一) 積載量

道路別

馬車

荷車

自動車

距離

馬車一噸當

荷車百貫匁當

自動車一噸當

一等道路

一噸半

百五十貫匁

一噸半

二十丁

一、七〇〇

一、四〇〇

一、四〇〇

二等道路

一噸

百廿貫匁

一噸

三十丁

一、一〇〇

一、四〇〇

一、四〇〇

三等道路 (里道小石の入
れざるもの)

二百貫匁

八十貫匁

二百貫匁

四十丁

一、一〇〇

一、四〇〇

一、四〇〇

右積載量及賃金に依り名古屋市中に於て平均迄と認むる距離

を以て算出すれば、一日當り小運送賃金は實に左表の如き數字を示す

字を示す

道路

運送別

一日の運搬噸數

一噸の賃金

一日の運搬賃金

合計

一級

牛馬車

三、八五九

一、〇〇〇

三、八五九

五、〇一五

二級

牛馬車

七、七二八

一、四〇〇

八、一二八

一四、〇四五

三級

牛馬車

七、七二八

二、一〇〇

九、八二八

二一、〇六八

合計

二四、一一七

四〇、一三〇

六〇、一三〇

今假りに道路等級を向上するものとし計算を試むるに

二級を一級とするときの一日當賃金差異

三級を貳級とするとき同上

二三級を一級とするとき同上

四〇、一三、一二 圓 錢

六、九三、九六 圓 錢

一五、〇四九、二〇 圓 錢

以上は全部に對する計算なるに付二級の貳割を一級とし、三級の三割を二級とするも一日に付金貳千八百圓餘の節約と

なり年額實に金壹百貳萬餘圓の實益あるものとす。

財政緊縮の爲め道路工事を中止又は繰

延する可否

前各項に於ての所説の如く地方的又は政争的濫設を試みたる効果の少なきものを中止繰延するは勿論なるも實益多きものは進んで速成すべきは經濟政策上の緊要事なりと信ず。

地方財政と道路問題

愛知縣に於ける道路改良計畫は大正十年度より三十箇年の繼續事業にて總工費金四千七百七十二萬餘圓を以て國道及大正九年四月認定に係る府縣道の大部分を道路構造令の規定に依り改良せんとするもの及右改良工事以外の部分に屬し田原豊橋停車場線外五府縣道中極めて交通困難の箇所を大正八年度より八箇年の繼續にて工費金六十六萬七百餘圓を投じ改良するものにして其の中最重要なる工事に屬し國庫より補助を受け施行中のものを擧ぐれば左の如し

一 丹羽郡犬山町地内

府縣道犬山岐阜線 木曾川架橋 (長百廿二間 幅四十七呎)

總工費八十一萬九千圓 (國庫補助三分ノ二)

右は名古屋市より岐阜縣各務原陸軍飛行場に迫する軍事上特に重要な路線なるも木曾川に架橋なく交通頗る不便の爲め大正十一年度起工四箇年の繼續にて目下鐵材架渡を了へ八分出來のもの

二 丹羽郡犬山町地内

府縣道犬山岐阜線道路改築 (長六百間 幅六間)

總工費十二萬二千圓 (國庫補助三分ノ二)

右は木曾架橋に關聯し犬山停車場迄改築するものにして大正十二年度着手既に敷地の一部買收を了へ大正十四年度に於て竣功の豫定

三 岡崎市內

國道第一號路線道路改築 (長千三百七十間 幅十二間)

總工費百八萬圓 (國庫補助三分ノ一)

右は全國交通の大幹線たると共に岡崎市內道路網の基準たるに、屈曲甚しく衝衢の整正交通上不都合尠からざるを以て之を改良せむとするものにして大正十三年起工既に敷地の一部買收を了へ大正十七年度竣功豫定

四 海部郡彌富町三重縣桑名郡長島村地内

國道一號路線木曾川架橋 (長四百九十五間 幅四間)

總工費二百十六萬圓 (國庫補助四分ノ三) (愛知三重兩縣分擔)

右は全國交通の大幹線たるに拘らず渡船を以て連絡を保つに過ぎず交通上不都合からざるを以て大正十三年度起工目下地質調査中にして大正十六年度竣工豫定

以上國庫の補助を受け施行中のものの中府縣道岐阜大山線架橋及之れに關聯する道路改築の如きは相俟て此の際進捗するに非ざれば、尠からざる費額を投し八分通竣工したるものも何等其効用を爲さず其他に在りても、急に迫りたる必要工事として起工したるものにして是等事業の中止繰延を爲すが如き場合は交通上の不便は勿論國家經濟上より頗る不利益なるものなり、而して縣財政狀態より之を考察するに、縣稅一人當負擔額は大正十年度金四圓五十七錢同十一年度金四圓四十四錢同十二年度金四圓三十八錢に對比し大正十三年度に於ては金三圓八十五錢に低減せられ居り、負擔力に於ては餘地あるものに認む。

尙大正十二年四月郡制廢止に伴ひ府縣道に認定せられたる道路は一路線中一部改築未竣工の爲め、全線の交通を阻害するものあり、又は交通上に支障を來し地方の發展を害するもの等尠からず、之れが改良を要するは一般の輿論にして時運の進展に伴ふ緊切の事業とす。

要するに効果に依り遺憾なき甄別をなし資源培養上錯誤なき

事を熟望して止まざるものなり。

濱松商業會議所會頭 宮本甚七

農村救濟策と道路問題

農村救濟策としては多々あるべきも特に耕地整理と相俟つて、道路の改良を唱へざるを得ず、惟ふに農民の科學的、衆團的經營法の漸く發達するに従ひ耕作に、運搬に、益々機械力に依るべきを以て茲に道路を改良し其目的に向て一大努力を要する事今更言を俟たず、即道路を改良施設する事なくして、農業經營の改善を叫び農村の救濟を圖らんとするは抑も本末を顛倒せるものと謂ふべし。

小運送と道路問題

小運送問題は昨今官民の間に旺に論議せらるゝも、先以て道路問題に付き充分の研究を要するは明白なる事實なりとす蓋し大運送の發達改良は運送の安全は口數の節約は生産費の低下の著しきに反し、小運送に於ては幾多の不備なる點あり殊に道路の極めて不完全なるより自ら商品の原價を高め延て消費者を苦しむるのみならず輸出品にありては其原價高まる